

# 事業報告

## 理事長あいさつ

2025年度は、大阪・関西万博の開催や日本の憲政史上初となる女性首相の誕生など明るい話題に恵まれる中、当財団においても計画した事業を概ね予定どおり遂行することができました。これもひとえに関係各位のご理解とご協力の賜物であり、改めて心より御礼申し上げます。

2025年度事業のトピックスを弊財団の3つの中核領域毎に以下ご報告いたします。

1つめの学術・科学技術の振興分野では、「倉田奨励金」は第57回を迎え、昨年度の342件を上回る352件のご応募をいただき、厳正な選考を経て44件に助成を行いました。競争は年々激化しておりますが、本制度が研究者の将来的な飛躍を支える一助であり続けることを願っております。

「日立財団科学技術セミナー」では、国立情報学研究所教授の越前功氏をお招きし、『ディープフェイクを見抜く一創るAI vs 守るAI』と題し講演いただきました。世界中で深刻な社会問題となっている生成AIを用いたフェイクメディアについての最新技術をご紹介いただき、オンラインと対面のハイブリッド形式で304名が聴講されました。

「日立財団アジアイノベーションアワード」では、ASEAN6か国の社会課題解決に資する研究開発を対象に、26の大学・研究機関からの推薦に基づく応募の中から13件を表彰しました。表彰式は初めての海外開催となるインドネシア・ジャカルタで実施し、大学関係者や日立スカラーシップ卒業生が参集し交流を深めました。アワード受賞者や日立スカラーシップ卒業生を対象としたメールマガジンの配信や関係大学への訪問等を通じて、継続的なコミュニケーションの維持にも努めました。

なお、「日立感染症関連研究支援基金」は前年度で助成を終了しましたが、その成果を書籍(電子版含む)として取りまとめ、国立国会図書館をはじめ主要図書館等へ納本し、広く社会に共有しております。

2つめの人づくりの分野では、「日立みらいイノベータープログラム」において、関東地区および大分県の6拠点・7校の小学校で出張授業を行いました。社内講師は日立グループ11社から約50名の協力を得て、体制も着実に拡充しております。

「理工系女子応援プロジェクト」では、事業開始10年を契機に、進路選択に影響を及ぼす固定観念や課題認識を共有する調査イベントを実施しました。女子中高生に加え、男子学生、保護者、教育関係者が参加し、「空想科学読本」著者の柳田理科雄氏の講演や、横山広美氏(東京大学教授)、京極大助氏(奈良女子大学准教授)を交えたトークセッションを通じて、ジェンダーバイアスと理工系分野の将来について理解を深めていただきました。その後のグループワークでは、無意識のジェンダーバイアスや社会風土が進路選択に影響を与えているという認識が共有されるなど、参加者に新たな気づきを与える機会となりました。

3つめの多文化共生社会の構築分野においては、電子ジャーナル「日立財団グローバルソサエティレビュー」第4号および第5号を発刊しました。関連学術分野における新たな視点や発想の創出に寄与するとともに、多文化共生への理解促進に引き続き取り組んでまいります。

今後も、サステナブルな社会の実現と国民生活の向上、さらには国際社会の発展に貢献すべく、当財団の強みを生かした事業活動を着実に推進してまいります。

## 倉田奨励金（研究助成事業）

2026年3月2日（月）、経団連会館において、2025年度（第57回）倉田奨励金贈呈式を開催しました。今年度は全国の研究機関から352件の応募がありました。選考委員会による厳正な審査により採択された44名の研究者に対して贈呈されました。

倉田奨励金は、日立製作所第2代社長の倉田主税が提唱し創設され、グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学研究を対象とする研究助成金です。

贈呈式では、選考委員長の花木啓祐氏より今年度の選考経過報告および受領者への期待を込めた講評があり、日立財団の中畑理事長から受領者一人ひとりに贈呈書が手渡されました。続いて、各部門・分野の代表者が登壇し、今後の抱負についてスピーチを行いました。贈呈式に続いて、研究期間を終えた受領者による研究報告会を開催し、4名の代表者が研究成果を発表しました。

■ 2025年度（第57回）倉田奨励金 助成一覧、贈呈式・研究報告会

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/topics/2603001.html>



### ■ 研究報告会

- 発表1 エネルギー・環境分野／岡林 賢仁氏（大阪公立大学）  
アルコールのC-O結合の切断を基軸とする  
触媒的分子変換手法の開発
- 発表2 都市・交通分野／河瀬 理貴氏（東京科学大学）  
不完全な情報環境における災害物流の主体間連携のための  
分散制御手法
- 発表3 健康・医療分野／達 博氏（物質・材料研究機構）  
電子線集光可能な回転結晶の膜を用いた  
内視鏡用X線光源の集積化
- 発表4 人文・社会科学研究部門／山田 歩氏（滋賀県立大学）  
検索エンジン・生成AIのサービス利用がアンコンシャス・  
バイアスの拡散に与える影響に関する心理学研究



## 日立財団科学技術セミナー（啓発事業）

2025年11月15日（土）、第21回日立財団科学技術セミナーを開催しました。

今年度は「ディープフェイク」をテーマに、越前功氏（国立情報学研究所 情報社会相関研究系 教授）を講師に迎え、AIの進化に伴うフェイクメディアの脅威と最新の対策技術について解説が行われました。

- 実績：会場47名、オンライン257名
- テーマ：「ディープフェイクを見抜く一創るAI vs 守るAI」
- 開催日時：2025年11月15日（土）13:30～15:10
- 講師：越前功氏 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 教授
- 開催報告：<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/seminar/topics/2512001.html>



講師の越前氏

## 日立財団アジアイノベーションアワード（表彰事業）

日立財団アジアイノベーションアワードは、ASEAN 地域における社会課題の解決および持続可能な社会の実現に資する科学技術イノベーションの促進を目的として、2020年度より開始した表彰事業です。

2025年度は、26の対象大学・研究機関より推薦を受けた応募案件について厳正な審査を行い、13名の受賞者を選定しました。2026年1月16日（金）には、インドネシア・ジャカルタのランガムホテルにおいて「日立財団アジアイノベーションアワード2025年度表彰式」を開催しました。当日は、受賞者や大学関係者などが現地およびオンラインで参加し、来賓による祝辞や表彰、研究紹介を通じて受賞成果の共有と参加者間の交流が図られました。

### ■日立財団アジアイノベーションアワード2025年度（第6回）受賞者

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/list/2025/index.html>



### ■日立財団アジアイノベーションアワード2025年度表彰式

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/topics/2601001.html>



### ■日立財団アジアイノベーションアワード事業レビュー（2020～2024年度）

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/review/index.html>



### 最優秀賞



エネルギーを超えた地熱：地熱水からの有用鉱物回収とグリーン産業への応用

Dr. Himawan Tri Bayu Murti Petrus ガジャマダ大学



### 優秀賞

汚染物質からタンパク質へ：  
食と環境を守る  
バイオレメディエーション技術



Dr. Adi Setyo Purnomo  
スラバヤ工科大学



電子パッケージの  
信頼性向上に向けた熱機械解析と  
設計技術の開発



Dr. Aristotle Tulagan Ubando  
デラサル大学



有害ガスの早期検知による  
健康・環境保護を目的とした  
スマートガスセンサー技術の開発



Dr. Manh Hung Chu  
ハノイ工科大学



量子技術とAIによるIC設計最適化：  
ベトナムなどの開発途上国における  
半導体研究開発の加速



Dr. Trang Hoang  
ホーチミン市工科大学



### 奨励賞

全脂大豆から代替肉へ：  
単軸押出法による持続可能なタンパク質と地域連携

Dr. Floirendo Pantas Flores フィリピン大学ロスバニョス校



ラオスに在来牛の生産性向上と環境負荷低減に向けた  
米焼酎粕飼料の活用

Assoc. Prof. Dr. Sangkhom Khom Inthapanya スファヌボン大学



農業廃棄物と水生植物を活用した有機肥料・バイオ炭の開発

Prof. Dr. Hoa Thi Thai Hoang フエ大学



製鉄廃棄物由来グラフェン系ナノ材料による環境・産業応用の展開

Dr. Tan Thi Vu ハノイ工科大学



有用微生物による水稻の生産性向上と持続可能な農業の推進

Dr. Kakada Oeum カンボジア工科大学



公衆衛生の向上をめざした先進免疫ナノ医療および  
ワクチンプラットフォームの開発

Dr. Viet Quoc Le トンデックタン大学



エネルギー、健康、環境モニタリングのための  
機能性ナノ材料ベースのセンサーの持続可能な製造

Dr. rer. nat. Ruri Agung Wahyuono スラバヤ工科大学



多様な食品システムにおける食品の安全性、真正性、  
機能的品質を迅速に評価するためのグリーン分析手法

Dr. Widiastuti Setyaningsih ガジャマダ大学



## 日立感染症関連研究支援基金（研究助成事業）

日立感染症関連研究支援基金では、COVID-19禍への対処において顕在化した課題について、エビデンスに基づく学術的な調査・分析を行い、その知見を国際的に共有することを目的とした研究を助成しました。2021年12月から3年間にわたり、5件の研究プロジェクトが実施され、すべての研究が終了しました。2025年度は、その成果を取りまとめた研究成果報告書を公開しました。

<https://www.hitachi-zaidan.org/reference-room/program/index.html#sec17>



## 日立みらいイノベータープログラム（出張授業）

2025年度も教育委員会および小学校と緊密に連携し、7校において本プログラムを実施しました。各学校では、日立グループ会社11社から計47名が講師として参加し、プログラムの運営に協力しました。

■実績：7校17クラス、児童507名、講師47名

■実施期間：2025年9月～12月

■実施校と講師派遣元

実施校	講師派遣元
渋谷区立上原小学校	(株)日立アカデミー
横浜国立市立間門小学校	(株)日立製作所、(株)日立アカデミー、(株)日立ICTビジネスサービス、(株)日立社会情報サービス
三芳町立竹間沢小学校	(株)日立アカデミー
柏市立光ヶ丘小学校	(株)日立製作所、日立工業専修学校、(株)日立社会情報サービス、(株)日立産機システム、(株)日立ソリューションズ、(株)日立ソリューションズ・クリエイト、(株)日立ソリューションズ・テクノロジー
柏市立富勢小学校	(株)日立医薬情報ソリューションズ、(株)日立産機システム、(株)日立ソリューションズ、(株)日立ソリューションズ・クリエイト、(株)日立ソリューションズ・テクノロジー
柏市立富勢西小学校	(株)日立ソリューションズ・クリエイト、(株)日立ソリューションズ・テクノロジー、(株)日立産機システム
豊後高田市立真玉小学校	(株)日立アカデミー、(株)日立パワーソリューションズ



## 理工系女子応援プロジェクト（啓発事業）

2025年7月21日（月・祝）、日本科学未来館において、「理工系の未来をデザインする～私たちが描く10年後の社会～」と題したトークセッションおよびワークショップを開催しました。小学生・中学生・高校生の男女43名と、保護者・教員・研究者31名が参加しました。

■理工系女子応援プロジェクトイベントレポート

<https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/topics/topics073.html>



## 多文化共生社会の構築

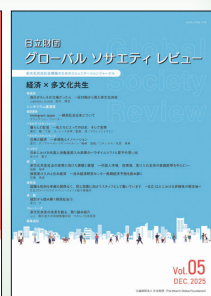
### 日立財団グローバルソサエティレビュー（啓発事業）

本ジャーナルは、多文化共生に関連する学術分野の有識者が相互に専門性を生かし、有機的な交流を図るためのプラットフォームとして、学術分野における新たな発想や視点の醸成に貢献することとあわせ、広く一般の方にも多文化共生を身近な問題としていただくことを目的に発行しています。

2025年6月に発行した第4号は「科学技術×多文化共生」をテーマに、科学技術がもたらす恩恵とともに、その背景にある課題や影響にも光を当て、教育現場での実践やAIの進展に伴う問題などを多角的に取り上げました。

2025年12月発行の第5号は「経済×多文化共生」をテーマに、6月に開催したシンポジウムの講演録、論文、座談会など、幅広い分野の方々の知見や経験を踏まえた内容となっています。

<https://www.hitachi-zaidan.org/global-society-review/index.html>



グローバル  
ソサエティレビュー